

日医ニュース

No. 1345
2017. 9. 20

発行所 **日本医師会**
Japan Medical Association

〒113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16
電話 03-3946-2121(代) / FAX 03-3946-6295
E-mail wwwinfo@po.med.or.jp
http://www.med.or.jp/

毎月2回 5日・20日発行 定価 2,400円/年(郵税共)

トピックス

- 定例記者会見 2面
- 都道府県医師会だより 6面
- 勤務医のページ 8面

第27回全国医師会共同利用施設総会

「健康寿命の延伸に向けた 医師会共同利用施設の役割について」を メインテーマに開催



第27回全国医師会共同利用施設総会(主催:日医、担当:大分県医師会)が9月2、3の両日、「健康寿命の延伸に向けた医師会共同利用施設の役割について」をメインテーマとして、491名の参加の下、大分市内で開催された。日医からは、横倉義武会長を始め、今村聡副会長、松本吉郎・羽鳥裕両常任理事が出席した。

待されるものとして入院機能とかがかりつけ医機能を持ち、地域包括ケアシステムの一翼を担うことを挙げるとともに「それらの方達には医師会活動や医師会が関わる連携体制にも、ぜひ参画して欲しい」と述べた。

最後に同会長は、本総会のテーマでもある健康寿命の延伸に向けた課題についても言及し、引き続き日医として取り組んでいく姿勢を示した。

続いて、小川隆平全国医師会共同利用施設施設長検査健診管理連絡協議会長／大阪府医師会保健医療センター所長が、平成28・29年度同連絡協議会の活動について報告。その後、三つの分科会に分かれてシンポジウムが行われた。

第一分科会(医師会病院関係)(座長:松本吉郎)常任理事)では、埼玉県石田岳史さいたま市民医療センター副院長／大宮医師会理事が、同センターの病診連携等について具体的な取り組みを紹介。いわゆる病院総合医

の有用性や地域における医師会病院のハブ機能のあり方を説明した上で、「医師会病院は地域包括ケアシステムの司令塔となり得る」とした。

広島県の中塚博文呉市医師会病院院長／呉市医師会理事は、排便障害の診断治療に取り組む同病院大腸肛門病センターの取り組みについて報告。高齢者の多くが悩む排便障害はQOL等に関わってくるとして、対策の重要性を訴えた。

大分県の山本貴弘大分市医師会副会長は、同医師会立アルメイダ病院の概要を紹介した上で、県の健康寿命延伸への取り組みに関連し、同医師会でも各種研修や消防行政との連携等を行い、健康寿命の延伸に寄与しているとした。

宮崎県の飯田正幸都城市北諸郡医師会会長は、行政の支援を受けて救急医療施設を新築移転した都城市郡医師会病院について、新築移転に至るまでに発生したさまざまな問題及びその解決方法、現在の活動状況等を紹介。医師会と行政の関係性を深めることの重要性を強調した。

検査・健診センターでの情報連携を紹介

を強調した。

第二分科会(検査・健診センター関係)(座長:池田秀夫佐賀県医師会会長)日医医師会共同利用施設検討委員会委員長)では、北海道の平山繁樹函館市医師会理事／函館市医師会健診検査センター運営委員長が、行政との

連携事例等さまざまな取り組みについて説明。現在、医師会病院、健診検査センター等4事業の拠点の集約を進めており、特に老朽化の進む健診検査センターの新築移転による利用者の利便性の向上に期待感を示した。

三重県の矢津卓宏阪地区医師会検査医療部門担当キャップ理事は、同医師会の検査センター、健診センターについて、民間業者との競合も激しい中、愛知県半田市医師会の協力の下、「J-Net」という医療ネットワークの試験運用を開始したことを紹介。医師会立の施設は行政とできる限り連携することで、

多職種協働による取り組みを説明

第三分科会(介護保険関連施設関係)(座長:利根川洋二埼玉県医師会常任理事)日医医師会共同利用施設検討委員会副委員長)では、東京都の益子邦洋南多摩病院院長が、八王子市医師会が取り組んでいる、在宅療養中の患者の救急搬送に病院救急車を活用する事業について報告。その結果から、病院救急車は地域包括ケアシステムを機能させるためのセーフティネットであると同時に、動く医師会共同利用施設でもあるとした。

大分県の外友一洋臼杵市医師会医療福祉統合センター長／臼杵市医師会立コスモス病院副院長は、同医師会が中心とな

り、国や日医でも検討が

まで行ってきた「ゆけむり医療ネット」等の事業を紹介し、今後の国の施策を踏まえた上での健康寿命の延伸に向けた取り組みや、医師会共同利用施設の未来に向けた役割について展望を示した。

吉田澄人日医総研研究部統括部長補佐は、健診標準フォーマットの運用拡大について、昨年10月に日本医学健康管理評価協議会において健診データの標準化を図るべく「共同宣言」を公表したこと(本紙第1324号既報)や、同フォーマットの運用拡大に向けて行っている本年の取り組みについて説明した。

大分県の田能村祐一別府市医師会ICT・地域医療連携室長／地域保健センター管理者は、これ

ら始めた情報ネットワークづくりすき石仏ねっとの活動について報告し、在宅医療・介護連携におけるICT(情報通信技術)の活用例や市民のほとんどが参加するネットワークを目標として行っている試み等について説明した。

最後に、今村副会長が、「本総会で共有された情報や成果をそれぞれの地域に持ち帰り、医師会共同利用施設の更なる発展に寄与することを期待する」と総括し、総会は終了となり、参加者はそれぞれ、県内の施設見学を行った。

なお、今回の共同利用施設総会は、平成31年度に三重県医師会の担当で開催される予定となっている。

また、近年、医薬品や医療材料等、「モノ」に対する支出が増え、医療機関の費用における人件費の割合が抑制されている現状に懸念を示し、医師だけではなくコメディカルも含めた医療関係者全体の人件費を確保するために、一診療報酬のあり方をモノからヒトへ変えていくことを日医として主張していかねばならないとした。

また、近年、医薬品や医療材料等、「モノ」に対する支出が増え、医療機関の費用における人件費の割合が抑制されている現状に懸念を示し、医師だけではなくコメディカルも含めた医療関係者全体の人件費を確保するために、一診療報酬のあり方をモノからヒトへ変えていくことを日医として主張していかねばならないとした。

健康寿命の延伸が国民皆保険の堅持につながる と強調 横倉会長

2日に開催された総会では、近藤稔大分県医師会会長を座長に、横倉会長が、「日本医師会の医療政策」と題して特別講演を行った。

横倉会長は、財政主導による医療費抑制に向け

た動きの中で国民皆保険を堅持するためには、過不足のない医療を医療者側から提言していく必要があるとし、「その第一が生涯保健事業の体系化による健康寿命の延伸である」と強調した。

また、近年、医薬品や医療材料等、「モノ」に対する支出が増え、医療機関の費用における人件

費の割合が抑制されている現状に懸念を示し、医師だけではなくコメディカルも含めた医療関係者全体の人件費を確保するために、一診療報酬のあり方をモノからヒトへ変えていくことを日医として主張していかねばならないとした。

各地域の取り組みを説明

第一分科会(医師会病院関係)(座長:松本吉郎)常任理事)では、埼玉県石田岳史さいたま市民医療センター副院長／大宮医師会理事が、同センターの病診連携等について具体的な取り組みを紹介。いわゆる病院総合医

の有用性や地域における医師会病院のハブ機能のあり方を説明した上で、「医師会病院は地域包括ケアシステムの司令塔となり得る」とした。

広島県の中塚博文呉市医師会病院院長／呉市医師会理事は、排便障害の診断治療に取り組む同病院大腸肛門病センターの取り組みについて報告。高齢者の多くが悩む排便障害はQOL等に関わってくるとして、対策の重要性を訴えた。

大分県の山本貴弘大分市医師会副会長は、同医師会立アルメイダ病院の概要を紹介した上で、県の健康寿命延伸への取り組みに関連し、同医師会でも各種研修や消防行政との連携等を行い、健康寿命の延伸に寄与しているとした。

宮崎県の飯田正幸都城市北諸郡医師会会長は、行政の支援を受けて救急医療施設を新築移転した都城市郡医師会病院について、新築移転に至るまでに発生したさまざまな問題及びその解決方法、現在の活動状況等を紹介。医師会と行政の関係性を深めることの重要性を強調した。

三重県の矢津卓宏阪地区医師会検査医療部門担当キャップ理事は、同医師会の検査センター、健診センターについて、民間業者との競合も激しい中、愛知県半田市医師会の協力の下、「J-Net」という医療ネットワークの試験運用を開始したことを紹介。医師会立の施設は行政とできる限り連携することで、

多職種協働による取り組みを説明

第三分科会(介護保険関連施設関係)(座長:利根川洋二埼玉県医師会常任理事)日医医師会共同利用施設検討委員会副委員長)では、東京都の益子邦洋南多摩病院院長が、八王子市医師会が取り組んでいる、在宅療養中の患者の救急搬送に病院救急車を活用する事業について報告。その結果から、病院救急車は地域包括ケアシステムを機能させるためのセーフティネットであると同時に、動く医師会共同利用施設でもあるとした。

大分県の外友一洋臼杵市医師会医療福祉統合センター長／臼杵市医師会立コスモス病院副院長は、同医師会が中心とな

日 医 定例記者会見

8月30日

臍帯血の

違法投与に対する

声明を公表



業者と臍帯血を投与した医師が逮捕されたことを受けて、本件に対する声明(別掲)を公表した。

横倉義武会長は、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」違反容疑で、民間の臍帯血販売部分も多く、実施に当た

って安全性と有効性の慎重な判断と、治療を受ける患者に対する十分な説明と同意が医師に強く求められていると強調。その上で、「今回逮捕された医師は、再生医療提供計画の届出違反のみならず、同法の適用除外となるよう、カルテの傷病名を改ざんしていたことが事実だとすれば極めて悪質と言わざるを得ない」と述べた。

また、横倉会長は、医学・医療の進歩と発展は、再生医療やゲノム編集などの新たな可能性を開き、国民にとって大きな福音となる可能性を秘めているが、同時に、医師には医療倫理や生命倫理に対するより深い理解と責任ある行動が強く求められている。改めて、医師として持つべき倫理観と社会的使命を、全ての医師が認識すべきと考える。

更に、今回医療機関が投与した臍帯血が、倒産した民間の臍帯血バンクが保管していたものを別

は、「保管状況によっては深刻な感染症のリスクが懸念される」と指摘。「今回の事件によって、再生医療全体の進歩が阻害されることがあってはならない」と述べるとともに、国に対しては、「国民の健康に資する再生医療の環境整備に向けて、今回の事件の真相が速やかに解明され、適切な再発防止策が取られることを望む」と述べた。

最後に、横倉会長は、「国民の健康に資する再生医療の環境整備に向けて、今回の事件の真相が速やかに解明され、適切な再発防止策が取られることを望む」と述べた。

メディカル会計力 リーダー養成講座を

開講



ら、「地域医療を担っている医師達に安心して医療に従事してもらうための基盤づくりとして本講座を開講することにした」と説明。

今後については、「医療・介護業界で会計に関する知識を使いこなせる人材を養成し、現場のリーダー養成講座を通じて医療の質の向上や質の高い医療の継続的な提供をサポートする視点がますます重要になってくる」と指摘し、日医としても、引き続き、これらの教育事業をさまざまな面でバックアップしていく考えを示した。

なお、同講座の講習内容は以下のとおりとなっている。

- (1) 講習内容：2～4週間ごとに受講者専用のホームページに掲載されるテキストと演習問題を中心としたe-learning形式の通信講座。一定要件を満たした受講者には、日本医師会ORCA管理機構名により修了証を発行する。詳細なカリキュラムは、日本医師会ORCA管理機構(株)ホームページ(https://www.orcamo.co.jp/products/medacc.html)を参照。
- (2) 受講開始日：11月1日(水)
- (3) 受講期間：原則4カ月間(最大延長12カ月)
- (4) 受講対象者：医療機関や介護関連施設の経営幹部及び幹部候補(医師、歯科医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、介護職員、事務局員等)が主な対象。なお、インターネットを使用できる環境にあることが必須条件。
- (5) 申し込み締め切り：10月31日(火)
- (6) 受講料：受講者が日医会員が開設する医療機関の職員の場合30000円。それ以外の場合60000円(税別、受講料支払時の手数料は含まれていない)。
- (7) 申し込み方法：日本医師会ORCA管理機構(株)ホームページの「メディカル会計力リーダー養成講座」より申し込み願いたい。

臍帯血の違法投与に対する声明

平成29年8月30日
公益社団法人 日本医師会

今般、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」(以下、再生医療等安全性確保法という)違反容疑で、民間の臍帯血販売業者と臍帯血を投与した医師が逮捕された。この事件は、本年5～6月にかけて、再生医療等安全性確保法で義務付けられている第一種再生医療等提供計画を、国に提出せず臍帯血の投与をしていたとして、10以上の医療機関が同法の規定に基づく当該再生医療等の提供の一時停止命令を受けたことに関連するものである。

再生医療は、難病治療への活用を始めとして大きな期待のかかる医療である。その一方で、再生医療にはまだ未解明な部分も多く、その実施に当たっては安全性と有効性の慎重な判断、治療を受ける患者に対する十分な説明と同意が、医師に強く求められることは論を俟たない。

今回逮捕された医師は、再生医療等提供計画の届出違反のみではなく、再生医療等安全性確保法の適用除外となるよう、カルテの傷病名を改ざんしていたとの一部報道もある。事実関係の解明が急がれるが、これが事実だとすれば極めて悪質と言わざるを得ない。

高い倫理観と医療安全の追求は、常に医師の根幹になければならない。日本医師会では平成10年に「会員の倫理・資質向上委員会」を設置し、医師の倫理向上のための種々の取り組みを行っている。平成12年に採択した「医の倫理綱領」では、「医師は医療を受ける人びとの人格を尊重し、やさしい心で接するとともに、医療内容についてよく説明し、信頼を得るように努める」こと、また「医師は医療の公共性を重んじ、医療を通じて社会の発展に尽くすとともに、法規範の遵守および法秩序の形成に努める」ことなどを、医師の持つべき倫理観として謳っている。

医学・医療の進歩と発展は、再生医療やゲノム編集などの新たな可能性を開き、国民にとって大きな福音となる可能性を秘めている。しかし同時に、医師には医療倫理や生命倫理に対するより深い理解と責任ある行動が強く求められている。改めて、医師として持つべき倫理観と社会的使命を、全ての医師が認識すべきと考える。

また、今回医療機関が投与した臍帯血は、倒産した民間の臍帯血バンクが保管していたものを別の業者が販売したものであると言われており、保管状況によっては深刻な感染症のリスクも懸念されるものである。

今回の事件によって、再生医療全体の進歩が阻害されることがあってはならないと考える一方で、国は、民間の臍帯血バンク等の業者による臍帯血などの人体組織の保管や流通に関して、法的な規制を含め厳格な監督・監視体制の整備を早急に検討する必要があると考える。加えて、国民に向けた再生医療に関する正しい知識の普及と啓発に、一層の努力を傾注することを望む。

日本医師会は、厚生労働省の厚生科学審議会再生医療等評価部会などの場を通じて、それらの実現に向けて積極的に発言していくとともに、国民の健康に資する再生医療の環境整備に向けて、今回の事件の真相が速やかに解明され、適切な再発防止策が取られるよう今後とも注視していきたい。

計力を有する人材の確保が、健全で強固な経営基盤に有用であることか

ホームページに掲載されるテキストと演習問題を

申し込み願いたい。

お問い合わせ先：日本医師会ORCA管理機構(株) medacc-info@pm.orcamo.co.jp

横倉会長

2017年世界獣医師会総会に出席



左から石橋朋子 OIE シニアマネージャー、横倉会長、藏内勇夫 日本獣医師会会長、パトリシア・ターナー WVA 次期会長

倉義武会長が WMA 次期会長として出席した。

本総会は、2017年 川世界獣医師大会 (World Veterinary Congress) と並行して行われたもので、その前身は、1863年7月、エディンバラ大学の Edinburgh が、第1回目の国際獣医学会をハンブルクで開催したことにあり、この第一歩が成長し、現在、94の会員団体を通して世界中の50万人の獣医師を代表する国際組織である WVA となった。

とも、臨床獣医学の全ての分野における新技術の潮流を共有し、この分野の時代に即したトレンドを創造することを目的として開催された。

総会では、WVA パートナーとして、WMA の他、国際食糧農業機関 (FAO)、国際軍事医学委員会 (ICMM)、国際獣疫事務局 (OIE)、世界動物保護協会、世界小動物獣医師会からそれぞれ代表出席があった。

横倉会長は、WMA と WVA の協力の経緯、昨年11月、北九州市における「第2回 WVA-WMA "One Health"」に関する国際会議の開催と福岡宣言の採択、日本国内における重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発症死亡例等の人と動物の共通感染症の発生状況と、全国の医師会と獣医師会の協定書の提携等の報告を含めたあいさつを行った。

WVA 総会は3年ごとの開催で、会長他役員の内任期も同様に3年間。2017年〜2020年の会長に韓国のジョンソン・チャン氏が就任した他、次期会長にはカナダのパトリシア・ターナー氏が、また、北アメリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、アジア・オセアニア、アフリカ、中東・北アフリカ地域の評議員等がそれぞれ選出された。



カナダ獣医師会150周年記念式典海外賓客

また、カナダ獣医師会からは、グランガー・エイブリー会長(2016-17年)、ローレン・マルクー次期会長(2017-18年)、ブライアン・ブローディー議長、ジェフ・ブラックマー医事部長等が出席した。

カナダ獣医師会発祥の地であるケベックシティで8月20、21日に行われたカナダ獣医師会150周年記念式典に、日医会長、WMA 次期会長として招待を受けた横倉義武会長の代理として、WMA 理事である松原謙二副会長が出席した。

連邦国家自治領カナダが1867年7月1日に誕生したことを背景に、同年10月9日、カナダの医師164名がケベックシティに集い、サー・チャールズ・タッパーを初代会長に擁し、カナダ

20日の海外賓客夕食会には、松原副会長の他、世界医師会オトマー・クロイバー事務総長、アメリカ獣医師会デビッド・バープ会長、イギリス獣医師会アンシア・モワット代議員会議長、イスラエル獣医師会レオニード・エイデルマン会長、レア・ワプナー事務局長、スウェーデン獣医師会ハイジ・ステンスミレン会長、タイ獣医師会サラントラ・ワイカクル会長、中国獣医師会ファーミン・グー副秘書長等が出席した。

今回の参加を通じ、WMA で北米地域の理事を有し、医の倫理等の分野で WMA の活動に積極的な関わりを持つカナダ獣医師会、特に WMA の議事進行役を長年にわたり務め、ヘルシンキ宣言改訂作業部会の委員でもあったブラックマー氏との友好関係を更に深められたことは、今後の日医の WMA における活動に大いにプラスとなるものであった。

また、カナダ獣医師会を始め、議長、その他役員と新たな関わりを得たことは、西国獣医師会の協力関係の強化につながるものとなった。

電子書籍アプリ
「日医 Lib」の活用を

電子書籍配信サービス「日医 Lib (日本獣医師会 e-Library)」のコンテンツは260を超えました。

今後もその充実に努めていきますので、ぜひ、ご活用下さい(登録方法等の詳細は、日医 Lib ポータルサイトまで)。



配信
コンテンツ
拡大中!



2017年世界獣医師会(WVA)総会が8月28日、韓国の仁川において開催され、世界獣医師会から世界獣医師会(WVA)への招待に応じ、横

倉義武会長が WMA 次期会長として出席した。本総会は、2017年 川世界獣医師大会 (World Veterinary Congress) と並行して行われたもので、その前身は、1863年7月、エディンバラ大学の Edinburgh が、第1回目の国際獣医学会をハンブルクで開催したことにあり、この第一歩が成長し、現在、94の会員団体を通して世界中の50万人の獣医師を代表する国際組織である WVA となった。

とも、臨床獣医学の全ての分野における新技術の潮流を共有し、この分野の時代に即したトレンドを創造することを目的として開催された。

総会では、WVA パートナーとして、WMA の他、国際食糧農業機関 (FAO)、国際軍事医学委員会 (ICMM)、国際獣疫事務局 (OIE)、世界動物保護協会、世界小動物獣医師会からそれぞれ代表出席があった。

横倉会長は、WMA と WVA の協力の経緯、昨年11月、北九州市における「第2回 WVA-WMA "One Health"」に関する国際会議の開催と福岡宣言の採択、日本国内における重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) の発症死亡例等の人と動物の共通感染症の発生状況と、全国の医師会と獣医師会の協定書の提携等の報告を含めたあいさつを行った。

WVA 総会は3年ごとの開催で、会長他役員の内任期も同様に3年間。2017年〜2020年の会長に韓国のジョンソン・チャン氏が就任した他、次期会長にはカナダのパトリシア・ターナー氏が、また、北アメリカ、ラテンアメリカ、ヨーロッパ、アジア・オセアニア、アフリカ、中東・北アフリカ地域の評議員等がそれぞれ選出された。

カナダ獣医師会発祥の地であるケベックシティで8月20、21日に行われたカナダ獣医師会150周年記念式典に、日医会長、WMA 次期会長として招待を受けた横倉義武会長の代理として、WMA 理事である松原謙二副会長が出席した。

連邦国家自治領カナダが1867年7月1日に誕生したことを背景に、同年10月9日、カナダの医師164名がケベックシティに集い、サー・チャールズ・タッパーを初代会長に擁し、カナダ

松原副会長

カナダ獣医師会150周年記念式典に出席



WMA 担当ブラックマー医事部長と

松原副会長は、WMA 理事として、WMA の代理として、WMA 理事である松原謙二副会長が出席した。連邦国家自治領カナダが1867年7月1日に誕生したことを背景に、同年10月9日、カナダの医師164名がケベックシティに集い、サー・チャールズ・タッパーを初代会長に擁し、カナダ

今回の参加を通じ、WMA で北米地域の理事を有し、医の倫理等の分野で WMA の活動に積極的な関わりを持つカナダ獣医師会、特に WMA の議事進行役を長年にわたり務め、ヘルシンキ宣言改訂作業部会の委員でもあったブラックマー氏との友好関係を更に深められたことは、今後の日医の WMA における活動に大いにプラスとなるものであった。

また、カナダ獣医師会を始め、議長、その他役員と新たな関わりを得たことは、西国獣医師会の協力関係の強化につながるものとなった。

第5回医学生・日医役員交流会

「医学教育の在り方に、学生はどう参画できるか」をテーマに議論



第5回医学生・日医役員交流会が8月24日、日

会は、その一環として、将来の医療を担う医学生

の生活を支えつつ、医療政策や医学教育の在り方について政府と議論して

この結果を受け、運営委員は論点として、(1)専門医の仕組みに

関する議論をはじめ、医学教育・医師養成に関する議論が「外」に共有さ

れにくい理由は何か、(2)医学教育・医師養成の仕組みの設計は、ど

こまで外部に開かれるべきなのか、(3)卒業教育の在り方を決めるプロセスに、今後当事者となる

医学生がどのように参画していけばよいのか、など8項目を提示した。

その後、今村聡副会長を座長として、羽鳥常任理事と運営委員によるパ

員交流会が8月24日、日

会は、その一環として、将来の医療を担う医学生

の生活を支えつつ、医療政策や医学教育の在り方について政府と議論して

この結果を受け、運営委員は論点として、(1)専門医の仕組みに

関する議論をはじめ、医学教育・医師養成に関する議論が「外」に共有さ

れにくい理由は何か、(2)医学教育・医師養成の仕組みの設計は、ど

こまで外部に開かれるべきなのか、(3)卒業教育の在り方を決めるプロセスに、今後当事者となる

医学生がどのように参画していけばよいのか、など8項目を提示した。

その後、今村聡副会長を座長として、羽鳥常任理事と運営委員によるパ

ネルディスカッションが行われたが、同常任理事は、日本専門医機構の議

論に医学生がオブザーバーとして参加できるようにするなど、議論を「外

と共有するための方法を検討していることを説明。運営委員からは、医

生にも多様な意見がある中で、誰を医学生の代表とするかという問題提起がなされ、インターネ

ットを用いて多くの医学生が議論に参画できる仕組みなどが提案された。

また、CBT (Computer Based Testing) 試験の

在り方についての疑問が呈され、医学生の重い負担となっていることが強調された。

第2部では、参加者全員でのディスカッションが行われ、医学部教育の国際認証要件ともなっている学生インタビューや

カリキュラム委員会への学生代表の参画について、各大学の状況が紹介されたが、意見に対するフィードバックの実感が得られないとの不満が相次いだ。

京都大学医学部6年生の池尻達紀氏は、「新たな専門医の仕組み」について羽鳥常任理

事への、大阪医科大学6年生の荻司万能氏は「医学部教育の国際認証」について奈良信雄日本医学

教育評価機構理事への、京都大学医学部3年生の外山尚吾氏は、臨床実習

に参加した医学生へのヒアリングで得られた結果を、それぞれ紹介した。

第2部では、参加者全員でのディスカッションが行われ、医学部教育の国際認証要件ともなっている学生インタビューや

カリキュラム委員会への学生代表の参画について、各大学の状況が紹介されたが、意見に対するフィードバックの実感が得られないとの不満が相次いだ。

これに対し、オブザーバーとして出席した佐々木昌弘厚生労働省健康局

がん・疾病対策課長は、憲法第23条により学問の自由が保障され、大学には自治や教授の自由があることから、本来、医学生は意見の反映を求める権利を有していないことを指摘。その上で、フィ

ードバックを得ていくためには、正当な手続きを踏んだ代表制の仕組みが大切であるとし、卒前・卒後の医学教育の在り方が検討されている今は、意見を述べるチャンスであるとした。

この他、受け身の受験エリートが多い医学生に対するリーダーシップの養い方や、良医を育てる医学教育の在り方などを巡り、活発な意見交換が展開された。

今村副会長は総括で、「医学教育の在り方について、引き続き意見を聞きたい。横倉会長が10月に世界医師会長に就任するが、世界的に共通した医学教育の課題についても皆さんの意見を踏まえて議論していきたい」とした上で、「ドクターズ

ゼ」を他大学の医学教育の情報共有の場としてもぜひ活用して欲しい」と述べた。

日本医師会女性医師支援センター

女性医師バンクから

Woman Doctor Bank

女性医師支援センターブロック別会議開催のお知らせ

地域からの声をお聞かせ頂くと同時に、本事業への理解を深めて頂くという双方向による情報の伝達並びに各地域内での情報交換の機会として、平成21年度より標記会議を全国6ブロックにて開催している「女性医師支援センターブロック別会議」を、今年度も下記の通り開催します。

◇北海道・東北ブロック(担当:岩手県医師会)

日時:平成29年12月3日(日)10時~12時15分
場所:盛岡市内ホテル

◇関東甲信越・東京ブロック(担当:日医)

日時:平成30年1月6日(土)15時~17時
場所:日医会館

◇中部ブロック(担当:石川県医師会)

日時:平成29年11月12日(日)12時~14時
場所:金沢市内ホテル

◇近畿ブロック(担当:大阪府医師会)

日時:平成29年10月14日(土)15時~17時
場所:大阪市内ホテル

◇中国四国ブロック(担当:徳島県医師会)

日時:平成29年11月4日(土)15時~17時15分
場所:岡山コンベンションセンター

◇九州ブロック(担当:大分県医師会)

日時:平成29年12月16日(土)14時~16時
場所:大分市内ホテル

登録件数

求職条件数107件(求職者数882人)、求人条件数2,280件(求人者数3,430施設)、就業決定及び再研修紹介583件(平成29年8月31日現在)

問い合わせ先 女性医師支援センター(女性医師バンク)

☎03-3942-6512 info-bank@jmawdbk.med.or.jp

日本医師会女性医師支援センター(女性医師バンク)の公式Facebookページがオープン!



日本医師会女性医師支援センターでは、当センターの存在を知って頂き、より多くの方々にご活用頂きたいとの思いで、公式Facebookページを開設いたしました。

公式Facebookページでは、女性医師のキャリア形成の支援情報、また、コラムやイベント開催の報告など、さまざまな角度から女性医師支援に関する情報を発信していきます。

アカウントをお持ちの方は、ぜひ「いいね!」を押してフォローをお願いいたします。また、アカウントをお持ちでない方もご覧頂くことが可能ですので、ぜひ、ご覧下さい。

日本医師会女性医師支援センター(女性医師バンク) 公式Facebookページはこちら <https://www.facebook.com/jmawdsc/>

その後、今村聡副会長を座長として、羽鳥常任理事と運営委員によるパ

ネルディスカッションが行われたが、同常任理事は、日本専門医機構の議

論に医学生がオブザーバーとして参加できるようにするなど、議論を「外

と共有するための方法を検討していることを説明。運営委員からは、医

生にも多様な意見がある中で、誰を医学生の代表とするかという問題提起がなされ、インターネ

ットを用いて多くの医学生が議論に参画できる仕組みなどが提案された。

また、CBT (Computer Based Testing) 試験の

在り方についての疑問が呈され、医学生の重い負担となっていることが強調された。

第2部では、参加者全員でのディスカッションが行われ、医学部教育の国際認証要件ともなっている学生インタビューや

カリキュラム委員会への学生代表の参画について、各大学の状況が紹介されたが、意見に対するフィードバックの実感が得られないとの不満が相次いだ。

総務課(人事・労務)03-3942-6493 総務課03-3942-6481 介護保険課03-3942-6491 年金・税制課03-3942-6487 生涯教育課03-3942-6477 施設課03-3942-7027 経理課03-3942-6486 広報課03-3942-6483 情報システム課03-3942-6485 医療保険課03-3942-6490 編集企画室03-3942-6139 情報サービス課03-3942-6140 情報サービス課03-3942-6482 医学図書館03-3942-6489

ニューヨーク野口英世記念会が来館



本間代表(右から2人目)、加納副代表と

ニューヨーク野口英世記念会の本間俊一代表(コロンビア大学循環器内科教授)、加納良雄副

野口英世博士のように日米の架け橋となる人材の育成に努めることを目的に米国で医師を目指す日系・日本人の若き研究者を対象として創設された「ニューヨーク野口英世記念医学奨学金」の活動への支援が要請された。

今回の訪問では、本間代表から横倉会長に、「ニューヨーク野口英世記念会日本支部」の活動、野口英世博士の墓所を守り、博士の偉業と遺徳を後世に伝えていく活動、更に

案内

「有床診療所の日」記念講演会

- ◆主催：日医・全国有床診療所連絡協議会
- ◆日時：11月19日(日) 午後1時～4時
- ◆会場：日医会館大講堂
- ◆参加料：無料
- ◆申込方法：日医ホームページから参加申込書をダウンロードし、必要事項を記入の上、FAXで、あるいは①郵便番号②住所③氏名④電話・FAX番号⑤所属(医師・医療／介護関係者・学生・一般)を記入の上、ハガキまたは電子メールで下記宛てに申し込み願いたい。
- ◆申込締切：定員(約500名)になり次第締め切。

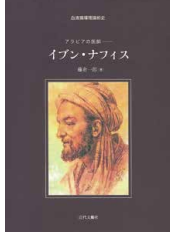
手打診療所前所長) シンポジウム「地域包括ケアシステムにおける有床診療所の役割」・質疑応答

◆問い合わせ・申し込み先：日医地域医療第一課 二丁113-8621 東京都文京区本駒込2-28-16 ☎03-3942-6137(直) ☎03-3942-2140(☎yushin1204@a-med.or.jp)

書籍紹介

アラビアの医師—イブン・ナフィス 藤倉一郎 著

血液循環の原理が確立されるまでの歴史的に見た人間の歩みを知ることができただけでなく、アラブ世界と西欧世界の関わり合いに根深く存在していた確執によって、正しい知への理解と伝播がいかに疎外的に作用されてきたのかも、現代のアラブの実情と対比して描かれており、興味深い。



イブン・ナフィスは、わが国ではほとんど知られていないが、アラビア医学の中で、偉大な医師の一人である。

医学と医学文献上寄与した業績は大きく、彼の独創的な発見である「肺循環の理論」をヨーロッパで血液循環に関する研究が発表される約300年以上も前に報告していることは驚嘆するばかりである。

本書は、イブン・ナフィスが成し遂げてきた業績のすばらしさを早くか

Dr.のための 相続・事業承継ガイドブック 今日から始めるハッピーリタイアの準備 益子良一 著

基礎知識から、今日から始められる相続税対策、一般開業医/医療法人それぞれの相続・事業承継の違いなど、法的側面をきちんとカバーしながら、実際にどの段階でどんな対応が必要なのかを簡潔に示されている。

◆現在、子どもや後継者への相続・事業承継を考えている医師から、若いうちに将来への準備を進めておきたい医師、更には相続を受ける立場の医師まで、自身の立場に応じて、基本の書として参照できる大変便利な一冊と言える。

定価 2160円(税込) 発行 日本医事新報社 ☎03-3329-1555



医師が相続で損をしないために、まずどんな対策から始めるべきか。本書は、多数の医療機関を顧客に抱える現役税理士が医師の相続・事業承継の基本を分かりやすく示した解説書である。

「医師にとって相続とはどういうものか」とい

小児・新生児診療 ゴールデンハンドブック 改訂第2版 東 寛 編

認できる本書は大変有用なものである。

その内容は、日常診療において知っておかなければならない疾患とその対処法など、必要な知識がコンパクトにまとめられているだけでなく、小児科診療における救急・蘇生から疾患各論、新生児診療、小児保健までの幅広い内容が網羅されている。

また、付録として、成長曲線、検査基準値、薬用量など役立つデータが豊富に盛り込まれており、大変使いやすく、便利な一冊となっている。

定価 4860円(税込) 発行 南江堂 ☎03-3811-7239



本書は、最近の小児医療の変化を踏まえ、2009年に発行された初版の内容を一部改訂したものである。

小児科診療において、小児保健学、発達生物学から身体と心の小児疾病学など幅広い知識が求められるが、身近に関連する知識を参照・再確

よい良い眠り

睡眠についての関心が高まっている。成人の30%以上の人が何らかの不眠を自覚しているとのデータもある。睡眠に良いという枕、マットレス、BGMなど、関連商品が次々と販売されている。睡眠薬も診療科目にかかわらず日常的に処方されている。

睡眠は本来個人差が大きく、ナポリオン、エジソンはショートスリーパー、アインシュタインは



ロングスリーパーであったと聞く。不眠症患者は、実際には眠っているのに、「一週間一睡もしていない」と感じるなど、訴えと実際の睡眠との間に乖離があることが少なくない(逆説性不眠症)。本来、人間は眠らないでいることは難しく、11日2時間が最長と

正しい睡眠の在り方を理解することが重要であり、安易に睡眠薬を使うことは厳に慎まなければならない。定期的な軽い有酸素運動、規則正しい食生活、寝室の明るさ、音、気温、湿度の調節など、正しい睡眠

最近、不眠症に対する認知行動療法が注目されている。多くのエビデンスの蓄積があり、特に入眠困難に効果が高いとされている。不眠症を長期化させる生活習慣(行動パターンや睡眠に関する考え方)と身体反応(過覚醒)に焦点を当て修正する。適切な睡眠衛生の啓発は、睡眠薬の処方数を減らすことができ、生活習慣病の治療にも寄与することが期待できる。

(薬)

睡眠薬も診療科目にかかわらず日常的に処方されている。

睡眠は本来個人差が大きく、ナポリオン、エジソンはショートスリーパー、アインシュタインは

睡眠薬も診療科目にかかわらず日常的に処方されている。

睡眠は本来個人差が大きく、ナポリオン、エジソンはショートスリーパー、アインシュタインは

都道府県医師会だより



ひょうごモデル「災害時における福祉避難所船構想」の実現へ
内閣府「大規模災害時における民間船舶を用いた要配慮者の受け入れ及び医療支援実証」報告

—兵庫県医師会—



が、熊本地震でも対応は遅く、いまだ十分ではなかった。

わが国は4つのプレートの境界に位置し、世界でも有数の地震国である。地震の活動期に入るとされる今日、日本のどこで大きな地震災害が起こってもおかしくない状況にある。

JMAT活動の重要な使命の一つが災害関連死を防ぐことである。神戸で約900名、東日本で約3000名に及んだ災害関連死を防ぐためには、災害時要配慮者への早期対応が不可欠である

用した「病院船構想」とは違った発想と構想で亜急性期から慢性期に民間船を活用する。

平成29年2月5日、内閣府による災害時要配慮者避難所船構想の実証訓練が、神戸港新港第3埠頭に係留されたジャンボフェリー所属の「こんぴら2」の船上にて行われた。小豆島・高松航路で運用されている3633トン、定員475人の船舶である。内閣府、国土交通省、県、神戸市、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会など12団体、約170人が参加、本県医師会からは12名が参加した。訓練にはさまざまな災害時要配慮者の状況が設定されており、看護学生が各種の装備を着け、忠実に状況を再現させていた。

JMAT兵庫が医療部門の中心となり、医師4チーム、歯科医師2チーム、モバイルファーム、栄養士、栄養生調師各1チームを統率して活動を行った。



医師会はチームが統括業務を担い、他チームは受付にて乗船者の健康チェック、船内巡回診療及び医務室で業務を行ったが、JMAT兵庫では普段より多職種との連携訓練を行っており、実証訓練も難なくこなすことができた。繰り返し行っているJMAT研修会の重要性を再認識した。



今回使用した船舶はバリアフリー対応ではなく、エレベーター設備もないため、船内の移動には大変苦勞し、ストレッチャーも使用できない場面があった。また、迷路のような内部構造は高齢者には配慮が必要と思われた。そして、エンジン音や震動など船独特の環境と船酔いへの対応、船内は照明が極端に暗く診療に影響があったことなど、さまざまな問題点が浮かび上がった。

一方、温度管理された快適な室内、調理された温かい食事や入浴設備など、ホテルとして整った環境は体育館などの劣悪な環境とは比べられるものではなく、我々が経験したように福祉避難所の立ち上げが非常に困難な中、避難所として有用な

ことは自明の理である。今後はどのような方を収容するのが望ましいかの検討が必要である。当初は船舶の手配、被災地への入港や接岸の問題などが議論されていたが、現在は国土交通省が港の掃海や岸壁修復を行い、旅客船協会の協力により船舶も確保できることになっている。

しかし、船舶を避難所として指定するには災害対策基本法など関係法令を変更する必要がある。避難所として指定されれば災害救助法による財政支援を受けられず、費用を公費以外で捻出しなければならぬ。

海洋国日本においては、陸上支援はもちろんだが、陸路が断たれることも想定し、海上支援も検討しておくことが肝要である。県医師会から始まった「福祉避難所船構想」は、今後は内閣府に引き継がれることとなるが、一日も早く実現することを切に望む。

南から北から

兵庫県
姫路市医師会報
No.389より

中年の病氣

小塚 明子

平成3年に父が急死し、それから25周年を迎えた。その間、私は医師としてより、患者としての経験をより多く積んできたように思う。胸腺腫、重症筋無力症、子宮内膜症、子宮筋腫からの大出血等々、病院には随分お世話になった。

今回は、そんな私が一番最近に悩まされた病氣の話をしてみたいと思う。

その病氣は48歳のゴールデンウィーク明けに始まった。下痢と嘔吐、食欲不振、全身倦怠感とあらゆる症状が出現し、元々少なかった私の体重は5キログラムも減少。当時の服は全てフカフカになっていった。

しかし、サイズの合う服を買いに行く気力も無く、日々仕事が終わるとようやく自宅にたどり着き、服を着替える余裕も無くベッドに倒れ込んでしまう毎日だった。

病院へ行く気になさえない私は、引きずられるようにして入院させられた。全身の精査を受け、何の異常も無いと診断さ

された。その後受診した心療内科で「うつ状態」と診断され、少量の抗うつ剤の服用を勧められた。薬はすぐに効かず、静養のため連れて行かれた上高地では、少し歩くと息切れがし、なかなか予約の取れないホテルのローストビーフも見ただけで、ほとんどのことを通らなかつた。

ところが、49歳のやほりゴールデンウィーク少し前、突然同じ症状が出現した。再度私は入院し、全身精査され、マンモグラフィーの時、血性乳汁分泌が有り（これは抗うつ剤及び胃薬であるA薬の副作用だったのだが）、疑われた。

リベンジで行った軽井沢でも元気に歩け、元気に食べられたのである。

48歳の症状出現の直前に偶然検査した女性ホルモンの値は全く正常で、ホットフラッシュや急な発汗など典型的な症状は何も無く、自分では更年期障害は考えもつかなかった。しかし、女性ホルモンの薬を服用しても、ちっとも長くならなかった。

その頃、最初にかかった心療内科の先生のアドバイスを頂き、更年期障害を考へるべきじゃないかということ、婦人科の先生と相談し、薬を飲み始めた。漢方は効かず、B薬も全く効かない。C薬を飲み始めてから1週間くらいで元気が出てきて、食欲が戻ってきた。

夏には、前年の上高地の思い出を思い出し、前年と同じようにリベンジで行った軽井沢でも元気に歩け、元気に食べられたのである。

その頃、最初にかかった心療内科の先生のアドバイスを頂き、更年期障害を考へるべきじゃないかということ、婦人科の先生と相談し、薬を飲み始めた。漢方は効かず、B薬も全く効かない。C薬を飲み始めてから1週間くらいで元気が出てきて、食欲が戻ってきた。

夏には、前年の上高地の思い出を思い出し、前年と同じようにリベンジで行った軽井沢でも元気に歩け、元気に食べられたのである。

その頃、最初にかかった心療内科の先生のアドバイスを頂き、更年期障害を考へるべきじゃないかということ、婦人科の先生と相談し、薬を飲み始めた。漢方は効かず、B薬も全く効かない。C薬を飲み始めてから1週間くらいで元気が出てきて、食欲が戻ってきた。

夏には、前年の上高地の思い出を思い出し、前年と同じようにリベンジで行った軽井沢でも元気に歩け、元気に食べられたのである。

秋田県
秋田市医師会報
No.547より

夜間カレー

津田 聡子

最近の私にとっての大イベントは、上の子が今春小学校を卒業したことだった。子どもが生まれてきた分、私は親として生きてきたわけで、いろいろあったけどお互い何とかこまごまよくやってきたねと背中をたたいて健闘をたたえ合いたい気分である。

「仕事と育児の両立は大変だったでしょ」とよく言われたが、子ども達は保育園でたっぷり遊ば

せていたが、おむつ交換やトイレのお世話で中断してばかり。手がガサガサになるくらい何度も手洗いして、やっと作った離乳食を食べさせようとしたら子どもが寝てしまっていたこともよくあった。そんな時は、痩せてないし保育園で食べているから、家で食べなくても大丈夫と自分に言い聞かせていた。

わが家に夜間カレーが登場したのはそんな頃である。当時私達夫婦が勤めていた病院には、22時から22時までの夜間外来業務があり、若手が当直、ベテランが夜間というものが暗黙の了解だった。ところがある日、夫が私に「しばらく当直じゃなくて夜間外来にしてもらったよ。その方が俺が朝はいるから、少しでも楽でしょ」と言った。その言葉にほっとしたのを覚えている。

夫が夜間外来業務と分かっていてはあらかじめ前日にカレーを作り置きするようにした。これが夜間カレーである。

カレーを入れる前に子ども達の分を取り分けて、離乳食には薄味をつけてすりつぶしたり刻んだり、幼児食には子ども用カレーで甘めに味付けして具も細かくした。

食事の時はどれだけこぼされても大丈夫なようにテーブルの下に敷物を敷いて、子ども達にポケット付きの前掛けを着けた。子ども達もカレーが好きでスプーンで一生懸命食べていたが、なぜか最後は手づかみで顔中カレーだらけになってごちそうさまのパターンだった。

その後また夫が当直をすることもあり、泊まりの出張もあり、そういう時もやっぱり夜間カレーだった。子どもが成長するにつれ、甘口カレーをみんなで食べられるようになり、大人は適時辛味をトッピングするようにした。

勤務先が変わって夜間外来と呼ぶなくなり、今はお互い月曜日が遅くなるので、日曜日に作っておく月曜カレーになった。

小学生になった子ども達に、なぜうちはカレーが多いのかと聞かれ、気づいていただくとびっくりした。

最近子どもが塾に行き出したので、その帰りを待って食べる遅めの夕食はやっぱり夜間カレーである。学校のこと、塾のこと、競争するようにしゃべる子ども達に相づちを打ちながらも、お腹が空いているのでスプーンは休みなく動かしている。

甘口カレーのような子ども達の無邪気な幼年時代は二度と戻らないと思えば寂しいが、子どもはぐんぐん成長し、大人は少しずつ老いていき、家庭のカレーも変わっていく。

（一部省略）

新潟県
新潟県医師会報
第798号より

歌声喫茶

星 榮一

1950年代に、第二次世界大戦後の復興の息吹や、新しい時代への希望、労働運動や安保闘争などを背景として、全国的に歌声喫茶が流行した。また、歌声喫茶は集団就職などで都会に出てきた若者達の孤独を癒やす場としても利用された。

その後は廃れていたが、長岡でも10年ほど前から定期的な月一回歌声喫茶が開かれている。100年も経った土蔵をリニューアルした喫茶店で、ワンドリンク付き600円で歌集を借りられる。

50〜60歳かそれ以上の方々が50名ほど、ほとんどは固定したメンバーである。アコーディオンの伴奏で1時間半に24〜25曲を歌う。

そこでは、文部省唱歌から童謡、歌謡曲、叙情歌、ロシア民謡、労働歌、反戦歌などあらゆる分野の、しかも皆さんのよく知っている歌が歌われる。

1950年代に歌声喫茶から流行した歌もある。「北上夜曲」「北帰行」「青葉城恋唄」「知床旅情」などである。また、東日本大震災の復興応援歌の「花は咲く」や朝ドラの主題歌「365日の紙飛行機」などの新しい歌も歌われる。

僕はフィットネスに行っているつもりで、大声で一生懸命歌う。ダイエットに少しは効果があるのではと期待している。

数年前の暮れに長岡で「千人で歌うベートーベンの第九合唱」があり、半年間、毎週日曜日の午後、発声練習と第九の練習をした。不思議とその後は声がよく出るようになった。

大声で歌った後はストレスも無くなり、心も爽やかになる。ポケ防止にも役立つので、よく歌っているのではと考えている。

僕はカラオケに行くこととはないが、歌声喫茶は性に合っているようだ。反戦歌や労働歌には知らない歌もあるが、もうしばらく歌声喫茶に通いたいと思う。

（一部省略）

勤務医のページ

勤務医座談会（第1回）8月4日開催

「勤務医の参画を促すための地域医師会活動について」をテーマに

日医の勤務医委員会では、8月4日、「勤務医の参画を促すための地域医師会活動について」をテーマに座談会を開催した。今後、3回にわたって掲載する。



前列左から、中川、市川、泉、守屋
後列左から、矢嶋、小林、木村の各氏

中川 実際

に当事者として患者さんに関わらないと、勉強したことが身に付かないという側面もあるのではないのでしょうか。私自身、昔ながらの自分が診療した範囲から一つひとつ学んでいくことが、時間は掛かっても身に染みるのだと感じており、そういう意味では、背中で教える伝統的な日本の医学教育のスタイルも非常に重要だと思っています。

守屋 病院で女性医師の復職問題を扱っています。子どもを育てながら常勤で働くのは難しいとおっしゃる方が多いです。私自身も2年目の時に出産しましたが、復職後、技術習得に非常に時間が掛かりました。私を再教育する上司や同僚も、他にも仕事があるのに、私に手を取られるので申し訳なく思っています。

木村 一つは診療科間の偏在がありますし、同じ診療科であっても、院長クラスの先生と科長、中堅とレジデント、あるいは、研修医の中でも温度差があり、それを一つの総労働時間だけで話すのは難しいと思います。

小林 私はOJT（On-the-job Training）が基本にあるべきだと思っています。勤務時間内の学習という点については、診療科間の差が極めて大きいと感じています。

中川 研修医の考え方もだいぶ変わってきているように感じます。ある程度患者さんに対して自分が責任を持って診療するという気持ちになった瞬間に、勉強の時間が労働という意識ではなくなるのですが、そのタイミングが研修医によってだいぶ違うのではないのでしょうか。

木村 大事なことは、私の世代の人間が、若手医師がやっていることを理解するだけで十分だと思うのです。新医師臨床研修制度が始まってから、既に10年以上が経過し、多くの臨床研修医が研修を修了してしまっています。彼らがルールをつくっていく時に、上の人間が彼らのやることを理解すれば、後10年もすると、自然に変わっていくと思うのです。

勤務医座談会出席者	
市川 朝洋	（日医常任理事）
矢嶋 宣幸	（昭和大学リウマチ膠原病内科講師）
守屋 普久子	（久留米大学医学部病理学講座助教） （同大学病院男女共同参画推進委員会副委員長）
中川 麗	（札幌徳洲会病院プライマリセンター長）
小林 利彦	（浜松医科大学医学部附属病院 医療福祉支援センター特任教授・静岡県医師会理事）
木村 尚人	（若手県立中央病院医療研修科長兼脳神経外科医長）
泉 良平	【司会】（日医勤務医委員会委員長・富山県医師会副会長） （若手県立中央病院医療研修科長兼脳神経外科医長）

市川 本日は、忌憚らないご意見を聞かせて下さい。教育なのかは分かりませんが、泉 さん、そもそも医師はキャリアパスの中で、10年程度で一人前となって、65歳になっても働いて貢献していくものではないか。最初の頃にはあまり労働時間という形で制限すると、学びたいことが学べない可能性も出てきます。業務の効率化を図りながら、医師のキャリアパスを考えた労働時間学習時間、教育期間を考えるべきだと思います。

泉（司会） 本日は、皆さんの思いを伝えて頂ければかという面での議論はすべしと思いません。

小林 医師が労働者か否かの思いを伝えて頂ければかという面での議論はすべしと思いません。